



第 4 章

# 4

## 先哲のことば

2 節

“国宝とは何者ぞ。  
宝とは道心(道を求める心)なり”

——さいちよう最澄(767年~822年)

“しん こん真言は不思議なり。  
かん じゆ観誦すればむ みよう無明をのぞく。  
一字に千里をふくみ、そく しん即身にほう によ法如をしやう証す”

——くう かい空海(774年~835年)

“善人なをもて往生をとぐ、  
いはんや悪人をや”

——しん らん親鸞(1173年~1262年)



## 2 節

“仏道をならふといふは、自己をならふなり。  
自己をならふといふは自己を忘るるなり。  
自己を忘るるといふは、  
万法まん ぼう(現象となってあらわれた真理)に証せらるるなり”

——道元どう げん(1200年～1253年)

“いかにもものあはれもなからむ。  
世はさだめなきこそ、いみじけれ”

——兼好法師けん こう ほう し(1283年～1350年)



## 3 節

“天は上にあり，地は下にあるは，  
天地の礼也”

——林羅山はやし ら ざん(1583年～1657年)

“誠とは，道の全体。故に聖人の学は，  
必ず誠をもって宗そう(おおもと)とす”

——伊藤仁斎い どう じん さい(1627年～1705年)

“先王の道は，先王の造つくる所なり。  
天地自然の道に非ざるなり”

——荻生徂徠お ぎゅう そ らい(1666年～1728年)



4 節

“もののあはれ”

——もと おり のり なが本居宣長(1730年～1801年)

5 節

“ばい り売利を得るは商人の道なり”

——いし だ ばい がん石田梅岩(1685年～1744年)

“東洋道徳，西洋芸術”

——さ く ましやうざん佐久間象山(1811年～1864年)



## 6 節

“天は人の上に人を造らず、  
人の下に人を造らずと云へり”

——ふくざわ ゆきち福沢諭吉(1834年～1901年)

“武士道の上に接木されたるキリスト教”

——うちむら かんぞう内村鑑三(1861年～1930年)

“(個人主義というものは)  
他の存在を尊敬すると同時に  
自分の存在を尊敬する”

——なつめ そうせき夏目漱石(1867年～1916年)



## 6 節

“かのようにがなくては、学問もなければ、  
芸術もない、宗教もない。  
人生のあらゆる価値のあるものは、  
かのようにを中心に行っている”

——<sup>もり おう がい</sup>森鷗外(1862年～1922年)

“元始、女性は実に太陽であった”

——<sup>ひら つか ちよう</sup>平塚らいてう(1886年～1971年)

“個人あって経験あるにあらず、  
経験あって個人あるのである”

——<sup>にし だ き た ろう</sup>西田幾多郎(1870年～1945年)

“人間とは「世の中」であると共<sup>とも</sup>に  
その世の中<sup>お</sup>に於ける「人」である”

——和辻哲郎(1889年～1960年)